

キャベツの切口の変色

カットしたキャベツの切り口が茶色や黒に変色してしまった時、皆さんはどうされていますでしょうか？。私はこれまでは変色部分を薄くスライス状にカットして捨てていました。

しかし、白菜の黒点がポリ

フェノールであるということを知り、もしかしたらと思い、調べてみましたら、やはりその通りで、キャベツに含まれるポリフェノールの成分が空気に触れて『ポリフェノール・オキシターゼ』という植物酵素に反応して酸化したことによって起こる現象なので、食

べても全く問題なく、逆に甘味が出て美味しくなっているそうです。

ジャガイモやリンゴの変色も同じ現象だそうです。もっと早く調べておけば良かったと、これまで捨てていたキャベツの変色部分に心の中で謝っています。ごめんなさい。

主な電話の3桁番号サービス

3桁番号サービスと聞くと、小学生の頃、電話で177をかけると天気予報が聞けると知り、どうしても聞きたくなり、隣の祖母の家に行ってこそと聞いて自分の家に戻ると、「天気予報は何と言った？」と父親から笑いながら聞かれ、

ばればれだったことを思い出してしまい私ですが、右の表が主な電話の3桁電話番号サービスです。

ちょっと面白いと思ったのが159(有料)。電話をかけた

104	電話番号案内	110	警察への事件・事故の急報
113	電話の故障	114	お話中調べ
115	電報の申し込み	116	電話の新設・移転・各種相談
117	時報	118	海上の事件・事故の急報
119	火事・救助・救急車	171	災害用伝言ダイヤル
177	天気予報	136	ナンバーお知らせ136
159	空いたらお知らせ159	188	消費者ホットライン
199	自動相談所虐待対応ダイヤル		

相手がお話し中のとき、相手の電話が終わり次第、通常と異なる呼び出し音で知らせてくれるそうです。相手が通話中の際、いったん電話を切ってから1分以内に[159]に続けて[1]を押して登録しておく

相手の通話の終了を確認した時点でサービス利用者を出し、通話の終了を音声で通知してくれます。あと114番では、相手先の電話が話し中かどうかをコンピュータが自動で調べてくれるそうです。

ヨシナカ新聞

3月号

発行所

株式会社ヨシナカ

東京営業所

TEL: 03-3555-0796

近鉄特急『ひのとり』

今年3月14日デビューの近鉄・新型名阪特急『ひのとり』です。大阪工場のMさんが、先月(2月)中旬に試運転で走行するという情報を入手し、左の写真は瓢箪山駅のホームから、右の写真は石切温泉ホテルセイリュウ

の前から別の日に撮影されました。現在の名阪特急とは全く違う新しいデザインに驚いたのと同時に素直に「恰好いい」と思いました。

名阪特急は大阪難波と名古屋を結んでいます。近鉄が名阪間に新たな特急車両を投入するのは、「アーバ

ンライナー・ネクスト」が投入された2003年以来、17年ぶりのことだそうです。新型車両の形式名は「80000系」で、『ひのとり』は愛称。スピード感ある車体フォルムや、メタリックレッドの外観デザイン、ゆったりとして気品ある車両のイメージを、



翼を大きく広げて飛翔する「ひのとり」を重ね合わせて命名されました。

鉄道車両としては日本初の全座席で「バックシェル」を装備、後部座席にはみ出さず気がねなくリクライニングできるそうです。これに乗って大阪から名古屋出張、悪くないな、なんて。

ステンレス豆知識

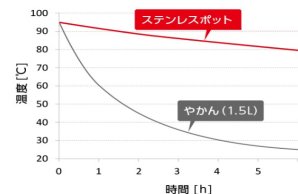
ステンレス製魔法瓶

他の金属と比較して熱伝導率が良くないステンレスは魔法瓶として使われますが、保温性を良くするため、さらに工夫がされています。

ステンレス製魔法びんはステンレスの二重構造の容器になっており、

外びんと内びんの間は高真空状態になっています。これは宇宙空間と同じで、熱を伝える気体分子がほとんどないため、熱移動による放熱を防ぎます。また、内びんの外側に放射率の小さな金属箔を巻きつけることにより、熱放射による放熱を防いでいます。一重構造のやかんと、魔法

びん構造のステンレスポットでの保温の違いは明らかです。



参照：THERMOSウェブサイトより